

[講演集会]

米の戦争へ地球規模で加担する 安倍戦争法の危険

政府は、集団的自衛権を行使するための安保法制 = 戦争法を 5 月中旬に提出し、国会会期を大幅延長した上で強行成立させようとしています。戦後の「安保政策」を大転換するものです。

安倍首相の狙う戦争法は、世界のどこへでも自衛隊を派遣し米の侵略戦争に参戦できるようにしようというものです。活動地域を戦闘地域にまで拡大させ、米軍の指揮下に入って戦場で武器・弾薬の提供を行えば参戦そのものです。治安維持活動 = 軍事制圧活動で武器使用が可能となれば銃撃戦や戦闘は不可避です。

しかし「恒久法」新設、周辺事態法の改定、「重要影響事態」などがいったい何を意味しているのか、ほとんど報じられていないのが現状です。

安保法制が変えられてしまったらどんなことが起こるのか、講演と報告で明らかにしたいと思います。自衛隊が戦場のまっただ中にたたき込まれ殺し殺されることになるのは確実です。

「70 年間戦争をしなかった国」「ひとりの戦死者も出さなかった国」は、憲法 9 条が押しつけてきたものです。今こそ侵略戦争の反省と不戦の決意を新たに、「戦争する国」反対、安倍戦争法反対の声をあげていきましょう。



ドイツ軍はアフガニスタン戦争で当初「後方支援」として参加していたが、なし崩し的に治安活動 ISAF に参加するようになり 50 人以上の死者を出した。安倍戦争法で治安活動 = 任務遂行型の国際協力活動が解禁されれば ISAF への参加も可能となり、自衛隊員が殺し殺されることになるのは避けられない。(写真は路傍爆弾のクレーターとドイツ兵 Stars and Stripes サイトより)

5月10日(日) 午後1:30 ~ 4:30

阿倍野市民学習センター講堂 (あべのベルタ 3F 地下鉄阿倍野駅よりすぐ)

講演: 吉田正弘さん (1:30 ~ 3:00)

資料代: 500円

「米の戦争へ地球規模で加担する安倍戦争法の危険

- - 日米同盟と日本軍国主義の新段階」

休憩

質疑応答・報告と討論 (3:10 ~ 4:30)

ライブ・イン・ピース 9+25

TEL 090-5094-9483 (事務局 大阪)

E-mail liveinpeace_heiwa@yahoo.co.jp

<http://www.liveinpeace925.com/>

http://blog.goo.ne.jp/liveinpeace_925